

# 芦安小中学校 学校関係者評価書(後期)

令和6年1月22日(月)

芦安中学校区学校運営協議会作成

## 第2回芦安地区学校関係者評価委員会(第3回芦安中学校区学校運営協議会)

実施日:令和6年1月22日(月)

会場:南アルプス市立芦安中学校 多目的室

### 〈芦安中学校区学校運営協議会委員〉

会長 森本 章雄(芦安地区学校応援団代表)  
副会長 小林 麻梨(芦安小中学校PTA副会長)  
委員 有野 敏也(南アルプス市みんなで支える芦安協議会代表)  
委員 伊東 隆雅(芦安地区保護司 夜叉神太鼓保存会会長)  
委員 岡崎 幸子(芦安小中学校PTA会長)  
委員 倉園 光代(主任児童委員)  
委員 清水 実(芦安子を守る会会長)  
委員 塚原 利幸(芦安窓口サービスセンター長)  
委員 内藤 薫(育成会会長)  
委員 名取 昭彦(元芦安小学校・校長 南アルプス市教育委員)  
委員 名取 大介(学校応援団コーディネーター)

### 〈学校職員〉

小学校 根津 盛吾(芦安小校長 芦安中学校区学校運営協議会委員)  
河野 太郎(芦安小教頭)  
中学校 矢吹 和信(芦安中校長)  
深澤 和博(芦安中教頭)

### 〈助言者〉

南アルプス市教育委員会 横小路 亮(学校教育課指導監)

## 1. 学校側から提案された内容

- ① 学校評価の方法について
- ② 評価の全体的な傾向について
- ③ 教職員自己評価・児童生徒アンケート・保護者アンケートの結果について
- ④ 今後の学校経営・学校運営について

## 2. 検討していただいた主な内容

- ① 各項目の評価・達成状況・改善策について
- ② 芦安郷育の充実について
- ③ 学校運営協議会の組織について

## 3. 学校への意見・要望・感想等〈小中〉

### 【学校経営・学校運営】

・芦安らしい取組が保護者の立場から見ても、素晴らしいと思います。できる範囲のことを先生と児童生徒が一つとなっているところは他の地域の人にも見てほしいと思います。

### 【学習指導】

・タブレットで漢字練習をしていましたが、その成果を確かめたい。

### 【生徒指導】

・保護者の立場から見てもよく見ていると感じます。

### 【保護者・地域との連携】

- ・住民が少ない地域だからこそ、できる行事を実行していただいていると感じる。特に、「芦安ふれあい運動会」など。また、夜叉神太鼓は合併前の芦安村時代から何十年も続いた伝統芸能であったが、流派が違うのか、また、後継者不足等により地域の指導者がいないのは非常に残念である。
- ・地域全員で何か一つのことと一緒に取り組んでみる。学校に関わる人を増やす。そのためにも、学校からもっと声をかけてもらうことも必要である。
- ・巣箱作りやアマゴ観察等、子どもたちと一緒に活動できる時間がほしい。

### 【学校の特色ある取組】

- ・芦安ならではの特色ある取組として、小中学校の登山や、かんじき作り、ボルダリング等、素晴らしい体験学習をしている。さらに、芦安地区の伝統芸能(民話等)も後世に残すために取組をしていただきたい。
- ・昔からある芦安音頭や民話等の郷土学習の時間を確保していただきたい。山岳館を活用する機会もつくってほしい。
- ・毎年同じ学習をしていても、マンネリ感が出てしまう。例えば、いくつかの活動を3年間でローテーションしながら実施する方法もある。
- ・太鼓や登山等が続いている歴史をどう引き継いでいくか、教職員が十分に理解できていない。芦安の歴史の書籍等を活用しながら、教職員の理解を深めていきたい。

## 【その他】

・環境省職員の協力等で、クマ対策の学習を進めることもできそうである。

## 4. 分析・評価

- 前期・後期の学校評価から得られた結果を今後の改善に生かせるように、1つ1つの項目について児童・生徒の実態を踏まえた具体的な手立てを講じながら学校運営の改善に取り組むとともに、学校教育目標の実現に向けてさらに芦安郷育を推し進めていきたい。
- 児童生徒数が少なく、子どもたち同士の間関係づくりに不安を抱いている生徒・保護者がいることを踏まえ、子どもたちとのコミュニケーションや日々の微妙な変化の見取りをより一層大切にしながら、きめ細かい対応をしていきたい。
- いじめアンケート等を生かし、教職員間での情報交換・情報共有を確実に行う。その上で、一人一人の児童生徒に合った支援・指導を行う。その際、SC等の関係機関とも連携し、多面的・多角的な支援方法を探していきたい。
- 児童生徒の発達段階・特性に合った学習支援と授業改善に取り組む。また、ICT機器等の活用、適切なめあてと振り返り場面の設定等を行い、児童生徒が自分の学びの成果や課題を把握しながら主体的に学習を進めることができる指導・支援にも取り組んでいきたい。ICT機器の活用と並行して、情報モラル教育の学習も充実させていきたい。
- 宿題の内容や方法等を検討した上で、家庭学習の改善・充実を目指したい。睡眠時間や食事の時間、ゲーム機やSNS等の使用時間も含め、家庭での生活時間の使い方全般を見直す。そして、タブレット端末や読書等を活用した自主的な学習に家庭と連携して取り組み、「主体的な学び」を目指していきたい。
- 学校だよりやホームページ等を活用して、コロナ後の学校の教育活動の様子を保護者・地域に発信していくとともに、保護者・地域に対して教育活動への参観・参加を呼び掛け、教育現場の実態について、学校・保護者・地域で共有していきたい。
- 自然体験活動や小中合同活動、PTA活動や地域との連携活動等の、芦安小中学校の特色ある取組を、今後、さらに工夫しながら活動の幅をより一層広げていきたい。その際、「前例主義」に陥らず、児童生徒の実態に応じて活動の見直し・改善を進めていきたい。